

港湾振興便り



2025. 7

第218号

* : * :

目 次

* : * :

1 ポートエッセイ — 大阪・関西万博～いのち輝く未来社会のデザイン～

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

2 トピック

●ホタテ玉冷の海外物流実証試験・テスト販売を実施

(^{えさし}枝幸町水産商工課)

●八戸港見学会を実施しました

(東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所)

●第76回東京みなと祭りへ出展しました

(関東地方整備局東京港湾事務所)

●富山大学生に「港湾施設の設計等」に関する講義を実施しました

(北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所)

●志布志港でサイバーポートに関する現地説明会を開催しました！

(九州地方整備局 志布志港湾事務所)

●大分港大在西地区複合一貫輸送ターミナル供用式を開催

(九州地方整備局 別府港湾・空港整備事務所)

*:

1 ポートエッセイ — 大阪・関西万博～いのち輝く未来社会のデザイン～

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

*:

大阪・関西万博が、160近い参加国のもと「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、4月に開幕された。6月10日からは「新潟県の催事」が始まり、私も駆けつけてPRに努めた。催事では「食と暮らしの未来」をテーマに、これからのライフスタイルに寄り添う上質な新潟の体験を提供し、実際に訪れたい新潟をPRするブースを設置、さまざまなイベントが催された。

新潟産大麦を原料としたウイスキーの試飲や、美味しい日本酒と特産品を味わえる「角打ち体験」のコーナーが設置され、多くの人が新潟産の枝豆などをおつまみに、新潟のお酒を飲み比べするなどして楽しんでいた。

また、当日は港町・新潟を代表する文化のひとつで、江戸時代から続く「古町芸妓」による華麗な舞が披露された。江戸時代、新潟は北前船航路の寄港地として多くの人が行き交う港町であった。街には賑やかな料亭が軒を連ね、訪れた人々を古町芸妓がもてなした。古町芸妓の芸とおもてなしの心は200年の間、伝統として引き継がれ、宴席などで今なお多くの人を魅了している。

これまで新潟が育んできた食や芸能の文化を未来につなぐためにも、これを機に新潟の食の豊かさや伝統を知っていただき、新潟を訪れていただければと思う。

「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマの今回の万博。サブテーマとして「いのちを救う」「いのちに力を与える」「いのちをつなぐ」を掲げている。人間一人ひとりの“いのち”つまり命、存在、尊厳、個性が大切にされ、誰もが自分らしく、安心して生きていける社会を、これからどのように創り上げていくかを問いかけている。

かつて、77カ国が参加した1970年の大阪万博は「人類の進歩と調和」をテーマに開かれた。当時は旧ソ連と米国をそれぞれ盟主とする東西冷戦の真ただ中だったが、東西の対立を超えて文化・技術を共有する場となり、国際理解を深める象徴的なイベントであった。あれから55年、東西冷戦は約20年後に終結したものの、世界各地での紛争は絶えず、人の命が奪われていく。人間一人ひとりの「いのち」の尊さを考え、世界平和の実現に向けこの大阪・関西万博がきっかけとなってほしいが…。

●八戸港見学会を実施しました

東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所

令和7年7月7日(月)、八戸工業高等専門学校の留学生3年生10名(タイ5名、マレーシア2名、ラオス1名、モンゴル1名、ミャンマー1名)を対象に八戸港見学会を実施しました。

港内見学では、港湾業務艇から八戸港に立地する企業、防波堤やコンテナターミナルなどの港湾施設を見学し、座学では八戸港の概要、港の役割、歴史や物流について講義を行いました。

今回の見学会で学んだことを、将来、技術者として活かしていただけることを期待しています。



北防波堤見学の様子



コンテナターミナル見学の様子



事務所職員による講義の様子

●第76回東京みなと祭りへ出展しました

関東地方整備局東京港湾事務所

5月31日(土)、6月1日(日)の2日間にわたり東京国際クルーズターミナルにて「東京みなと祭」が開催されました。毎年、東京港の開港記念日である5月20日に合わせて開催されています。

東京みなと祭は官民が一体となって、東京港が「首都圏を支える港」として、また「身近で親しみやすい港」として広く知っていただくことを目的としています。

当事務所と特定離島港湾事務所合同でブースを出展しました。東京港中央防波堤外側地区海上コンテナターミナル整備事業、東京港臨港道路南北線(現:海の森トンネル)事業、特定離島港湾施設の整備に関する事業について説明しました。

また、今年度からは「みなとのおしごと紹介」、「おしごとインタビュー」のステージや港湾業務艇「江戸」での東京港周遊クルーズ、沈埋函の構造をモチーフとした妖精「ちんまいちゃん」のペーパークラフトのワークショップを行いました。

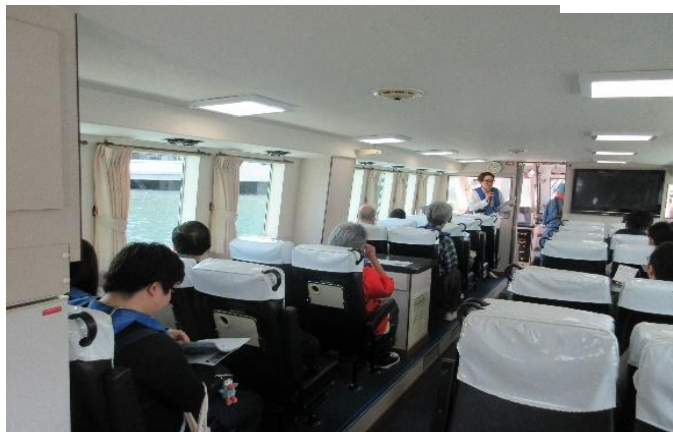
より広い層の来場者に東京港や特定離島における事業展開だけでなく、関東地方整備局全体をPRするよい機会となりました。



お仕事インタビュー



ブースの様子



港湾業務艇「江戸」での東京港周遊クルーズ

●富山大学生に「港湾施設の設計等」に関する講義を実施しました

北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所

伏木富山港湾事務所は、富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科の3・4年生(51名)を対象に5月28日に「港湾施設の設計等」に関する座学、6月4日に現場見学会及び意見交換会を行いました。

1日目の座学では、当事務所の山川副所長が「港の役割と伏木富山港の現状」について講義を行い、続いて「(一社)港湾技術コンサルタンツ協会」の石見裕太氏により「港湾施設の設計」について講義を行いました。講義後、鋼矢板の維持管理について質問がありました。

2日目の現場見学会は、能登半島地震により被災した伏木地区の災害復旧工事現場で実施し、受注者より工事概要や施工状況、地盤改良工法の動画による説明をしていただきました。

その後の意見交換会では、学生から「護岸や橋が被災したメカニズムについて」、「今後、被災しないための対策は行われるのか」、「仕事内容や職場環境」等、多くの質問があり、活発な意見交換が行われました。

今回の講義及び現場見学会により学生の進路選択の一助となり、将来の担い手へと繋がることが期待されます。



山川副所長による講義



意見交換会の様子

本現場見学会の構成者は、以下のとおり

主催:国土交通省 北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所

共催:(一社)港湾技術コンサルタンツ協会、(一社)日本埋立浚渫協会、富山県港湾建設協会

●志布志港でサイバーポートに関する現地説明会を開催しました！

九州地方整備局 志布志港湾事務所

令和7年6月23日(月)、民間事業者間の港湾物流手続の電子化による業務の効率化や生産性向上に向けて、九州で初めて志布志港で「サイバーポートに関する現地説明会」を開催しました。

本説明会は、民間事業者間のコンテナ物流手続は、メール添付や紙・電話等の割合が高く、全体で見ると電子化が進んでいない現状を踏まえ、貿易手続全体の効率化に向けた取組の重要性について知っていただくことを目的として開催したものです。

当日は、志布志港でコンテナ物流に携わる民間事業者等9団体24名にご参加いただき、港湾物流手続の電子化の状況やサイバーポート導入効果を紹介した後、サイバーポートの操作を実際に体験していただきました。

参加者からは、「貿易実務への効果を実感することができた」、「参加できなかった担当者にもすぐに共有したい」といった意見がありました。

今回の取組結果を踏まえつつ、引き続き、民間事業者間の港湾物流手続の電子化を通じた業務の効率化・生産性向上に取り組んでまいります。



サイバーポートを活用した輸出業務のデモンストレーションの様子



サイバーポート体験後の意見交換の様子

●大分港大在西地区複合一貫輸送ターミナル供用式を開催

九州地方整備局 別府港湾・空港整備事務所

令和7年6月14日(土)、九州地方整備局別府港湾・空港整備事務所及び大分県の共催により「大分港大在西地区複合一貫輸送ターミナル供用式」を開催しました。

本ターミナルでは、水深-9m岸壁および既存の約2.4倍の広さのふ頭用地が整備されるとともに、DX技術を活用した無人受付や駐車位置の管理システムを導入するなど、輸送能力の向上と荷役作業の効率化が図られました。

【テープカット・くす玉開披】



【供用開始後の新ターミナル】



::*: 本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先 : *:*:*:*:*:

日本港湾振興団体連合会事務局

〒105-0002 港区愛宕1-3-4

TEL:03-5776-0630 FAX:03-5776-0631

e-mail:bcf06323@nifty.com

*: